

2022年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名【 福知山認定こども園 】

自己評価の観点	前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている		A
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している		A
評価の根拠 ・保育理念、方針、目標について唱和、掲示などで理解を深め、基としてそれぞれの計画を立て保育を行っている。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている		A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している		A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している		B
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている		A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している		A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している		A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている		B
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		B
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している		B
⑩ 保育についての話し合いをよくしている		B
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている		B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています		B
評価の根拠 ・子ども一人ひとりの発達や個性、背景を職員間で共有し保育を行っている。質の向上に向けて日々の保育を振り返り、更に子どもの遊びの幅を広げていけるよう保育者自身の実行力をつけていくことが必要と考える。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている		A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している		A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている		A
評価の根拠 ・子どもの体調や様子について口頭やコドモンで家庭と連携し配慮している。衛生面、SIDSについてチェックリストを活用している。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である		A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		B
評価の根拠 ・年度初めには会議で年間行事の必要性や前年度の振り返りを踏まえて計画をするようにしている。今年度は特に状況に合わせた行動計画を立て、ねらいや内容を共通認識して進めた。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している		B
② 旬のものと季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている		A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている		B
評価の根拠 ・菜園活動や行事食、旬の食材など食への楽しみが持てる機会を作っている。月に一度保育者と調理師とで給食会議を行い食についての理解周知を図っている。調理師がクラスを見て回り子どもとのコミュニケーションを積極的に行っている。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。		A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている		A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である		B
評価の根拠 ・職員の役割分担を明確にし、それぞれの役割について理解し責任を持って行っている。会議が適切かつ効率的に進められるように計画采配されている。けがや事故があった場合など対応体制が整っている。		

自己評価の観点		前年度 の評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について			
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている		A	
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		A	
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		B	
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		A	
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている		A	
評価の根拠 ・定期的に点検、清掃を行っている。月一回の避難訓練ではどのような状況でもその場に応じた対応・判断ができるように実施し、消火器、排煙の確認も必ず行っている。			
8. 研修について			
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		A	
② 研修報告を園内で実施している		A	
評価の根拠 ・様々な研修に参加できるよう計画されており自主的に参加できる研修の情報も周知されている。研修後は職員会議にて報告を行っている。また、研修報告書を作成し回覧して水平展開できるようにもしている。			
9. 情報について			
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		A	
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		A	
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している		B	
評価の根拠 ・個人情報は施錠されている場所で保管し、パソコンはパスワードを入れ、守秘義務の徹底を理解するよう指導が行われている。ノンコンタクトタイムを導入し書類の記録について時間の確保の工夫をしている。			
10. 設備について			
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている		B	
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している		A	
評価の根拠 ・安全点検は定期的に行われ記録されている。点検後は点検内容を共有できるようにして理解を深められるようにしていく。掲示物の内容に応じて効果的な場所を工夫している。			
11. 保護者支援について			
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		A	
② クラス懇談や個別懇談を行っている		A	
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		A	
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		A	
評価の根拠 ・二年間閉鎖的になってしまう状況の中、園の様子や保護者支援について改善できることはないか園全体で考えた。見える化としてコドモンやブログでの配信、ドキュメンテーションに取り組み、保護者に理解を深める手法として活用できた。			
12. 開かれた保育所づくりについて			
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している		A	
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している		A	
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		A	
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している		B	
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている		A	
評価の根拠 ・毎週月曜日に園庭開放を行い、子育て相談や一時保育の案内をしている。地域に根付く保育所となるよう情報発信としてブログを活用し、地域の子育て支援の意味を理解して取り組んでいく。			
13. 情報発信について			
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている		A	
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している		B	
評価の根拠 ・外部用の園だよりを作成し地域に配布したり、ブログで園の様子を発信している。月に一度地域の会議に参加して情報交換をしている。			
14. 人権擁護について			
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている		A	
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている		A	
評価の根拠 ・園内研修や部外研修で子どもの人権やその他研修で人権尊重について学ぶ機会をもち一人ひとりの人権意識を高めている。			
15. 総括			
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。			
・自己評価をとおして、前年度よりも改善・充実した点			
・コロナ禍の２年間で変化したことも多くあり、コロナの前と後では随分方法と手段を変更したこともある。特に保護者や地域との繋がりといった面は、希薄になったことでのトラブルもあったので、力を入れた点として、「どのように開かれた園にするか」といったことをテーマに検討し、実施してきた。その中でも以前から足踏み状態であった「ドキュメンテーション」に積極的に取り組み、職員全員が園の保育を見直し、改善する視点を持ったことは、利用者に寄り添った実践となった。			
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点			
・良いとは評価したもの、まだまだ今後に向けて変化することができるのではないか、余力があるのではないかと思われる項目については「B」の評価をつけた。現状は要員は満たない状況ではあるが、業務内容の効率化を全職員が理解し、ムリムダのない要員配置をすることで、ノンコンタクトタイムを実践することができた。しかし、保育内容の充実に向けた、複数の職員同士での相談や会議の実施が計画的に行うことまではできていないことが課題ではないかと考える。			